

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「パチンコ店内に am/pm プロデュースのコンビニ設置」
- 2) 「修学旅行に食育の一環」
- 3) 「食育 弁当作りから」
- 4) 「食の記念日」

1) 「パチンコ店内に am/pm プロデュースのコンビニ設置」

1月31日、神奈川県相模大野のパチンコ店『THE CITY 相模大野店』内に、業界初のコンビニコーナーが設置された。

am/pm プロデュースによるコンビニコーナーで、景品カウンターコーナーに設置。

am/pm の店内をそのまま再現したレイアウトと、実際に取り扱っている商品を景品交換の対象とすることで、今までの約 600 アイテムから約 1500 のアイテムにまで拡大した。

玉やメダルを計数した会員カード・レシートで交換できるようになっており、現金での利用は不可。

これまでに新しいサービスを積極的に導入して「業界初」となる取組みを数多く行ってきた am/pm 社と共同で取り組むことで、他のパチンコホールとの差別化を図ったという。

病院・学校・庁舎・公共施設などコンビニの出店範囲が様々な場所へ広がるが、今回のケースはありそうでなかった試みだと思った。

コンビには飽和状態といわれているが、こうして考えてみるとまだまだ出店余地はあるのかも・・・

2) 「修学旅行に食育の一環」

都心部にある小学校に新しい修学旅行のスタイルがみられている。

日程の一部に地方の農家・農園・牧場等に泊まり込んで、農作業の体験や滞在先の家族と交流を行うようだ。

数人のグループに分かれ一定の地域に1-2泊し、牧場では牛・馬の世話を、農園では作物の収穫などを体験する。

これまでの修学旅行といえば、ホテルや旅館に泊まりお客さんとして扱われていたが、農家に泊まりお手伝いをする事で人の温かさに触れ、人との付き合いを学ぶというのが狙い。また、修学旅行では文化や歴史に触れ学ぶというのが一般的だが、食育の一環としても考えられている。

旅行前に都心からのお土産を選んだり、旅行後にお礼の手紙を送ったりと、社会生活上のマナーを意識させ学ぶことも目的とする。

今後、スーパーマーケットで地方の受け入れ先の紹介や、こういった動きを応援する活動などがあれば、地域を上げての新しい取り組みが出来るのではないかと。

3) 「食育 弁当作りから」

全国 18 道県の学校・役場で「弁当の日」というものが広がっている。

発端は香川県高松市にある小学校で、生徒自身が自分の弁当を作ってもってくるという日を決めて実施している。校長が「食べることの価値に気づいてほしい」と 2001 年に始めた。小学校では家庭科がある 5、6 年制が対象だ。学期ごとの調査では、「好き嫌いが減った」「家族との会話が増えた」といった効果もみられた。

現在校長が在任している中学校では、献立、買い出し、調理、弁当箱詰め、片付けの全てを自分たちでやり、家の人には決して手伝わないよう学校側が念を押している。昼食時には、クラスでお互いの弁当が気になり、歓声上がる。

自分で弁当を作ることによって自立を促すこともでき、感謝の気持ちも芽生えるいい試みだと思う。

4) 「食の記念日」

立春である本日、毎年秋田県のかほ市では「掛魚祭り（たら祭り）」という行事が行われている。元禄年間（1688～1704 年）以来、300 年の伝統をもつと伝えられている。

掛魚（かけよ）とは、漁から帰った漁師が氏神様や恵比寿様にお供えする魚のことで、祭りの主役となる大たらは 1 匹ずつ荒縄に釣り下げられ、海上安全や豊漁を願って金浦山神社の神前に供える。

神事後は、勢至公園で金浦神楽が披露され、大鍋で名物のたら汁がふるまわれる。

日本にはこうした古くからの食にまつわる神事が沢山あるが、企業等が自社の商品の販促のため制定した記念日も毎月ある。

今月は、神事では、2日に宮城県の『松島かき祭り』、11日の岩手県で『わんこそば全日本大会』、三重『ごぼう祭り』、福岡『ぜんざい祭り』等がある。

記念日では、6日の『海苔の日』、9日の『ふぐの日』、10日『ふきとうの日』、14日『バレンタイン・デー』、それに28日『ビスケットの日』等。

スーパーではこうした販促はすでに取り入れられているが、改めて見直してみると全国に意外な行事や記念日などがあって面白い。